

研修記録シート【主任更新研修】 設問項目・解説

令和6年度 岐阜県主任介護支援専門員更新研修

	No.	分類	設問項目（修了評価項目）	解説（修了評価の背景・必要性）
地域包括ケア他 1日目	1	制度等情報把握	介護保険制度に関係する制度改正等の情報が、概ね把握できている	ケアマネジメントリーダーとして制度の展望を見据えた法令遵守に基づく最新情報の把握と、解り易く周りに伝える勉強会等の周知活動が求められます。
	2	制度等情報伝達	介護保険制度に関係する制度改正等の情報を、職場や地域で他者に伝達できている	
	3	CM課題の把握	地域の介護支援専門員が抱える課題を把握している	地域のケアマネジャーが抱える課題（※）を地域課題として把握し、捉えた地域課題を地域ケア会議等に提案し解決に向けた取り組みが求められます。 （※）倫理的課題を含む
	4	CM課題の解決	地域の介護支援専門員が抱える課題に対し対応策等を行政機関等と検討している	
	5	包括ケア課題の把握	地域において、地域包括ケアシステムを構築する上での課題を把握している	地域包括ケアシステムの構築には横断的な共通課題（※）を把握し、それらの地域課題を保険者・地域包括支援センター等と共に解決に向けた取り組みが求められます。 （※）倫理的課題を含む
	6	包括ケア課題の解決	地域において、地域包括ケアシステムを構築する上での課題に対し対応策等を行政機関等と検討している	
7類型共通 2～8日目	1	SVの焦点化	●●について、バイザーが困難と感じている所に焦点を当てた指導・支援ができている	ケアマネジャーの支援・指導に際しては、焦点を絞ったスーパービジョンが不可欠です。併せてスーパーバイザーとして自己覚知し自らの支援・指導に係る課題の解決に向けましょう。
	2	SVによる自己省察	●●について、実践事例の意見交換・振り返りから、自らとして不足している視点に気付くことができ、課題把握ができている	
	3	多職種連携CM	●●について、日常的に直接ケアに関わる事業所等から利用者に係る情報を得る様な支援・指導ができている	ケアマネジャーに対して、利用者の自立支援に向け、多職種連携の効果を発揮すべくケアプランと個別援助計画の連動を意識化し、ケアプランを適宜変更できる様な支援・指導が必要です。
	4	多職種連携CM	●●について、上記の直接ケアに関わる事業所からの情報によりケアプランの変更が検討できる様な支援・指導ができている	
	5	地域課題の把握	●●について、地域課題を把握している	地域作りに際しては、横断的な地域課題（※）を保険者・地域包括支援センターや地域のケアマネジャー他関係者と共に解決に向けた取り組みが求められます。（※）倫理的課題を含む
	6	地域課題の解決	●●について、地域課題に対し対応策等を行政機関等と検討している	
	7	社会資源の活用	●●について、支援を検討するに当たり、インフォーマルサービスを含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導している	ケアマネジャーへの支援・指導に際しては、地域の幅広い社会資源の活用の視点及び具体的な自立支援の視点が不可欠です。
	8	自立支援型CM	●●について、ケアマネジメントの実践を支援・指導する上で、自立支援を意識した考え方で支援・指導する視点を持っている	
全体（総合） 8日間	1	定期的なSV実施	職場や地域においてスーパービジョン関係を構築すべく定期的なスーパービジョンが開催されている	職場（同一法人内）や活動地域（他法人との共同）における人材育成としてスーパービジョンは必須です。併せて事後の評価によりスーパーバイザーとしての学びに繋がります。スーパービジョンが当たり前となる体制を目指しましょう。
	2	SVの事後評価	実施したスーパービジョンを逐語録や振り返りシート等でリフレクション（自己省察）できている	
	3	バイザーとしての姿勢	日常的に他のケアマネジャー等から相談し易い配慮（態度・声掛け等）が意識されている	
	4	人作り・地域作り	自らも研修会に積極参加すると共に、地域にて勉強会への参加や研修会の企画立案等の関わりがある	地域（他法人との共同）における人材育成にはケアマネジメントに係る勉強会・研修会の開催に向けた企画立案や、地域ケア会議の積極的活用が求められます。
	5	地域ケア会議活用	地域の課題や地域の現状を認識するために、地域ケア会議に主体的に参加している	